

Rotary



ガバナー月信

Vol.9
MARCH 2017

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



源平ゆかりの須磨寺（兵庫県神戸市須磨区）にて 一谷嫩軍記“熊谷次郎直実と平敦盛”像



人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー第 2570 地区事務所

〒355-0028 東松山市箭弓町 2-5-14 紫雲閣 3階

TEL : 0493-21-2570 FAX : 0493-21-2571

E-mail : d-office@mail.rid2570.gr.jp

<https://www.rid2570.gr.jp/>



知恵と元気を

Bridge over troubled water



国際ロータリー第 2570 地区

2016 ～ 2017 年度 ガバナー 前嶋 修身

<米山記念奨学生>

次年度の採用面接試験を、1月7日(土)、8日(日)の2日間、国立女性教育会館において実施いたしました。12大学から6ヶ国28名の応募があり、11名を合格採用しました。当地区では次年度は16名の受入予定のところ継続学生が5名いるため。面接試験には加藤玄静PG(奨学会理事)と私も立ち会いましたが、忽滑谷ロータリー奨学部門委員長をはじめ担当委員そして学友の皆さんには全て骨折りいただき感謝しています。

本年度の奨学生修了式は、3月5日(日)川越東武ホテルで開催されます。世話クラブの会長、カウンセラー、クラブ米山委員長も出席の予定です。

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、1952年に東京RCが海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始め、それが日本全国のRCの共同事業として発展したものです。世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。奨学金は、日本各地のRCからの寄付に個人・法人の寄付を加えた基金でまかなわれており、いわば日本のロータリアンの善意のかたまりなのです。

「Bridge over troubled water」(日本語名：明日に架ける橋)は、ご存知のようにサイモンとガーファンクルの世界中でヒットした名曲です。この歌の歌詞は、友情の歌とも恋愛の歌とも呼ばれていますが、その内容はさておいて、この歌の題名が私には米山記念奨学生と関連して印象深いのです。私は奨学生に「母国と日本の明日に架ける橋」となっていくことを期待しています。勿論、政治的なことに関わることを期待しているわけではありません。奨学生の母国と日本との間にどのようなトラブルが生じようとも、両国の将来のために架け橋となっていくことを期待し、彼らに話したいと考えています。

<ゾーン再編成について>

国際ロータリー理事会は、2017年1月、ロータリークラブの新しいゾーン構成(ゾーン再編成)を採択し、6月の会合で引き継ぎゾーン関連の検討を行う予定とのことです。

国際ロータリー細則は、各ゾーンのロータリー会員数がほぼ均等になるよう、少なくとも8年ごとに、34あるロータリーゾーンの包括的な見直しを行うことを義務付けています。ゾーン見直しが前回に行われたのは2008年。新しいゾーン体制は2020年～22年度からと思われます。

新しい体制では、日本は従来と同じ3ゾーン(第1ゾーン、第2ゾーン、第3ゾーン)からなりますが、第1ゾーンには新しくパキスタン、バングラデシュ、インドネシアが加わります。私たちの第2570地区は、第1ゾーンから第2ゾーンに変更されます。

<城西大学ローターアクトクラブが認定されました>

当地区では久々にローターアクトクラブが設立されます。本年度創立50周年を迎える坂戸RC(新井正健会長)が、記念事業として3年前から城西大学のご支援をお願いし計画してきたもので、若き学生諸君と活動します。

既に本年2月3日にジョン・F・ジャームRI会長から認定を受けています。来る4月8日(土)には城西大学において、白幡晶城西大学学長他多くの関係者とともに設立式を開催する予定です。

<今月は、水と衛生月間です>

3月は、重点分野の一つである「水と衛生月間(Water and Sanitation Month)」です。地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。

入間ロータリークラブ・「公共イメージと認知度の向上」の取り組み PART 2

社会奉仕部門委員会 委員長 齋藤 栄作 (入間RC)

今年度入間ロータリークラブは「ロータリー戦略計画」の「公共イメージと認知度の向上」を意識した社会奉仕活動を展開しています。

今回は市内に今年度4月に開校した「埼玉県立わかさ高等特別支援学校」に通う生徒を対象にスポーツ環境を整え彼らがスポーツを通して心身の健やかな成長を遂げられる事を願ってユニフォーム(バスケットボール競技用)15着を2017年1月26日(木)14:00より埼玉県立わかさ高等特別支援学校校長室にて西山祐三会長をはじめとする入間ロータリークラブ役員から山口伸一郎校長をはじめとする学校幹部の皆様、生徒代表にユニフォーム伝達式が行なわれ寄贈されました。

予めユニフォームの伝達式を行う旨を広報委員会を通して埼玉新聞、地元入間ケーブルテレビに連絡していたため、当日埼玉新聞社の担当記者と入間ケーブルテレビの取材を受ける事が出来ました。

埼玉新聞には2月3日に掲載され、入間ケーブルテレビでは1月28日 17:45分 22:15分 29日9:00に放映されました。

追伸

8月に行われた入間市教育委員会に寄贈したタブレット端末についての学校での使用報告と感謝状伝達式が入間市教育研究所で行われ西澤教育長から感謝状をいただきました。

この様にロータリーの社会奉仕活動が認知される事によりロータリーの認知度が向上しさらに入間市の教育委員会並びに入間市の教育幹部にロータリーの公共イメージがアップしたと確信し「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を意識した社会奉仕活動は各クラブのロータリーの社会奉仕活動を行動的導くものであると強く感じました。



報道機関 各位

【またまた、入間ロータリークラブが競技用ユニホーム寄贈】

今年度(4月)開校した「埼玉県立わかさ高等特別支援学校」の学校教育に必要な「教具」、特に競技用ユニフォームを購入する予算が無く困っているとの事でした。

そこで、社会奉仕活動の一環として、加納障害の生徒のスポーツ環境を整え、彼らがスポーツを通じて心身の健やかな成長を遂げられるようにとの願いから、今回「競技用ユニフォーム(バスケットボール用)15着」を入間ロータリークラブ西山祐三会長より寄贈致します。

寄贈式 平成29年1月26日(木) 14:00より
埼玉県立わかさ高等特別支援学校校長室にて

入間ロータリークラブ 広報委員長 本 野 啓
埼玉県入間市電話047-271-4175(受付11時)
TEL: 04-2984-1700
携帯: 090-3368-3719

ロータリー青少年交換 (ROTARY YOUTH EXCHANGE)

青少年奉仕部門諮問委員 パストガバナー
真下 和男（東松山 RC）



第 2570 地区の当該部門は宮原克平部門委員長以下 20 名構成です。

青少年奉仕部門委員会委員長 宮原 克平（志木 RC）

アクト委員会 委員長 加藤 洋子（和光 RC） 4 名

青少年交換委員会 委員長 吉田 真人（深谷 RC） 7 名

ライラ委員会 委員長 國分 学（志木 RC） 4 名

高校生社会体験活動支援委員会 委員長 五十嵐敦子（本庄 RC） 4 名

高柳年度の規模は実質支出額 459 万円と金額も多額です。RI が最も期待して力を入れている部門です。

今回は特に最近運営が難しい状況になっている青少年交換について活動面と予算を重点的に取り上げてみます。

青少年交換プログラム（YEP）は 46 年間も続いている地区の重要な企画です。これだけ歴史の長い事業も最近では重荷に感じているクラブや会員の多いのも事実です。

原因は会員の減少による財政的な問題と会員の高齢化によるホストファミリーの減少にあります。これは、7～8 年以上前から指摘され始め、だんだん悪化してきています。事業遂行の為には何らかの手を打たなければならない状況になってきています。青少年奉仕部門宮原委員長はガバナー月信 4 号でその原因と解決策を提案されています。

インターシップは上田埼玉県知事が熱心に取組まれています。職業に対する取り組みの自覚が中途退学防止に有効であるとの実績が報告されています。県立和光高校単独の意見交換会が平成 29 年 1 月 25 日に開催され参加しましたが、高校生の熱心な取り組みには感動しました。埼玉県、学校側も大変意欲的に取組んでいるので、ロータリークラブとしても成果を期待して、継続的に取組んでいくべきです。

前嶋ガバナー年度の青少年奉仕部門の予算は 342 万円と 4 委員会の活動資金としては決して充分とは言えないでしょう。予算要求は担当部門と次期地区幹事と打合せ協議を充分することが肝要です。

日頃の意欲的な活動に感謝申し上げます。

ロータリーコーディネーター(RC)について

RI 第1ゾーンRC補佐 パストガバナー
坂本 元彦 (富士見 RC)



クラブのリーダーは会長で、地区のリーダーはガバナーで、
地域(第1～3ゾーン)のリーダーは各コーディネーターとなります。
日本のロータリーのリーダーはRI理事です。

地域のリーダーには4役あり、

- 1) ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、
- 2) ロータリーコーディネーター(RC)、
- 3) ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、
- 4) 恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)となっています。

ロータリーコーディネーター(RC)の役目は、RIの提唱する戦略計画に基づいて
地区およびクラブを支援していくことです。これは戦略計画の3つの重点目標の1番
目の「クラブのサポートと強化」の部分のことです。

具体的には、講演等を通じて以下の事柄等の周知が基本となります。

- 1) 会員増強
- 2) 退会防止
- 3) マイロータリーへの登録の促進
- 4) RIの情報の提供
- 5) ロータリー精神(奉仕の理念と実践)の向上

RCの願いと同じく我が地区の最重要問題は会員増強であるでしょう。これには地
域の職業分類をしっかりと行き、専門職、事業家、地域のリーダーの方々にくり返し入
会を勧めることに加えて、是非入会したいと思うクラブ作りが肝要です。奉仕の理念
の下これに基づいた奉仕活動の実践を行い、ロータリーは本当に素晴らしい、自分自
身や仕事のために役に立つ存在だと各ロータリアンが納得する事で、出来ることで
しょう。

ロータリーはESSです。ロータリー人生を皆さんで楽しみましょう。

E:Enjoy ロータリーを楽しもう

S:Study ロータリーで学ぼう

S:Service ロータリーで奉仕しよう

「ロータリーの魅力」を創造する

直前ガバナー

高柳 育行（本庄RC）



日本のほとんどの地区で会員が増加するなるなかで、第 2570 地区は会員の減少が続いております。今年度こそ増加に転じることを願っております。クラブ奉仕部門では、会員増強委員会と公共イメージ委員会が各クラブの会員が増加するようクラブのサポートに努力しております。そこで私としては皆様に「ロータリーの魅力」を創造することをお願いしたいと存じます。すなわち、ロータリアン一人ひとりがロータリーの魅力を創造することで、クラブが元気になり、そして地区が活性化すると思っているからです。

今年度の国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム氏は、『人類に奉仕するロータリー』をテーマに掲げておられます。2016 年の規定審議会事前ガイダンスでは、「この世界には、ロータリーにとって多くの機会が存在する。仲間（会員）を増やす機会・奉仕をする機会・戦略を立てて変化する世界に対応する機会。この世界で、ロータリーへの需要は高まっている。ロータリーと世界との結びつきも強まっている。しかし、奉仕活動に忙しい私たちは、時として現状をしっかりと見ることを忘れてしまうこともある。ロータリーがこの世界、そして時代に沿った存在であり続けるために、私たちは何をすべきだろうか。」と私たち問いかけています。さらに 2016 年 10 月の理事会と財団管理委員会では、「ロータリーのリーダーである私たちは、全会員がロータリー会員であることのメリットと価値を実感できるよう、力を注がなければならない。」とっております。

クラブ会長を始め、私たちロータリアンには、様々なことが求められていますが、特に会員増強やロータリー財団への理解と協力があげられます。2016 年の規定審議会の結果、クラブの運営に柔軟性が与えられた一方で、自主性と責任が課せられました。「ロータリーの良いところ」は皆様よくご理解されていると思いますが、魅力と感じられるところは個人個人で異なると思います。私自身は、「人生とは自分の不足しているところに気づき、ロータリーはそれを満たしてくれる場」のように思っております。

「ロータリーの魅力」を創造するために、ロータリーの会合に参加すること、ロータリーについて学ぶこと、ロータリーを通して積極的に奉仕活動すること、ロータリーのプログラムのアイデアを考えること、そして自らがリーダーとなって実践することではないかと思えます。ロータリアン一人ひとりが、どの場で「ロータリーの魅力」を創造するかを考え、そして活動して欲しいと思えます。その結果、「自分自身が成長でき・クラブが元気になり・周りの人の幸福を実現できる」ものと思えます。

志木ロータリークラブ創立 45 周年記念例会、パーティー

クラブ奉仕委員会 委員長 岩下 正基 (志木 R C)

志木ロータリークラブは 2 月 8 日 (水)、創立 45 周年を祝い、ベルセゾンにて記念例会、パーティーを開催致しました。来賓の志木市長香川武文様、そして前嶋修身ガバナーの祝辞をいただき、前嶋ガバナーには、若き日に数年志木市に在住されたとのお話もあり、R C の縁を感じました。

スポンサークラブの朝霞 R C の高橋会長・大畑幹事様、子クラブ志木柳瀬川 R C、姉妹クラブ小諸 R C の 22 名の参加を得て、和やかに、親睦を深めました。

創立 40 年以降 5 年間の映像を初め、県指定文化財「田子山富士塚」「ハタザクラの長勝院」へ木製ベンチの寄贈を行いました。アトラクションには沖縄民謡の演奏を楽しみ、一足早い春の風を感じました。



第 51 回インターアクトクラブ次期指導者講習会の概要報告

アクト委員会 委員長 加藤 洋子 (和光 R C)

2017 年 2 月 11 日和光市中央公民館において、次期指導者講習会がインターアクター 48 名顧問教師 15 名、前嶋ガバナー他ロータリアン 12 名、計 75 名が参加して盛大に開催されました。

テーマは「ディベートを学ぼう」

～これからの国際社会において必要な論理的思考力の向上～

まず和光国際高校の瀧嶋先生から、「ディベートの基礎」の講義があり練習・準備に入りました。ディベートの試合直前に「英語教育は小学校から義務教育化するべきか否か」の課題が発表されました。全国的に使用されているディベート大会の方式に則り、今回は 4 グループに分かれ試合が行われました。試合はグループごとに行われ、各グループに国際高校の先生が一人ずつジャッジマンとして配置されました。インターアクター達は、今回のディベートの意義、概要をそれぞれ、スマホを駆使して念入りに調べ理解した上で、チームごとに多角的に分析し自分達の意見を持ち論戦にそなえました。息詰まる攻防が 50 分間展開されました。その後ジャッジを行った先生から指導・講評がありました。

ディベートとは相手を論破することが目的ではなく、色々の角度から意見を聞く力と、考える力を養い、視野を広げる事に役立つということを理解することができました。

インターアクター達は一連のディベートを通し与えられた課題に対する理解を深めるとともに、論理的な思考とコミュニケーション力を磨くことができました。



日豪青年相互訪問オーストラリアチーム来日報告

国際交流委員会 副委員長 林 康雄 (志木RC)

去る、1月14日(土)に成田国際空港入国ゲートから第41期豪州チーム11名(ロータリアン2名、6名の男子と3名の女子)が旅の疲れも無く元気な姿を見せた。

日本での滞在期間は短いが正に「hard two weeks」であった。15日(日)パストガバナー4名のご出席を頂き、総勢70名を超える川越市でのウエルカムパーティー。小江戸川越の伝統文化体験。東京浅草を訪問の後、芝「増上寺」での宿坊・勤行体験。初めての企画で大相撲初場所を観戦。後半には、草津温泉とスキーを体験。一行が草津高原で-15℃の極寒を体験したその日に、彼等の母国パース市では39℃の酷暑であったそうです。

今回のメンバーには大学で日本語を専攻する学生が数名参加しており、有る程度日本語での意思疎通が出来たこと、現代日本の映像・音楽文化が日豪リアルタイムで共通の話題となること等、世界が狭くなっていることをより実感しました。また、豪州学生の一人が日本滞在期間中に豪州名門メルボルン大学の合格通知を受ける吉報もあり、将来外交官を目指すと言っていた青年が日豪の懸け橋となる日を期待しました。

3月には、日本チーム10名が西豪州パースを22日(水)から2週間訪問します。



〔川越・蓮馨寺、安全祈願〕



〔浅草、着付け体験〕

RYLAの役割と将来の展望

ライラ委員会 委員長 國分 学 (志木RC)

2月5日(日)国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議場にて「第9回全国RYLA研究会」が開催されました。総勢120名、北海道から九州のロータリアン、RYLArian等、たくさんのロータリファミリーが集まりました。

改めてRYLA(Rotary Youth Leadership Awards)とは14歳～30歳までを対象とした地域を担う将来のリーダーのための研修プログラムです。会員のみならずにもRYLAの意味をまだまだ知らない方も多くいらっしゃると思いますのでもう一度ご理解いただけると幸いです。

研究会の内容としては、司会の三木明RI理事ノミニの進行で市川伊佐夫元RI委員の『国際化・多様化とRYLA』というテーマで基調講演をいただき、テーマをもとにパネルディスカッション、RYLArianの発表を交えて、テーブルディスカッション、分科会発表ととても充実した内容の濃い研究会となりました。

地区によっては2泊3日でRYLAセミナー開催したり、参加者に地域の会社の30歳以下の若者を募集するなど、積極的に若者にロータリーの認知度を高めている発表もありました。未来のロータリを支えるのは若者です。各地区のクラブがもっと積極的に地域の若者と接する場を作るべきだと思います。

開催にあたり2750地区役員、RYLArianの方々の全面的なご協力に感謝いたします。



米山梅吉記念館便り

シリーズ⑦ 米山梅吉の横顔

米山梅吉が社長を務めた三井信託株式会社は大正13年3月創業です。当時、信託は馴染みが薄かったのですが、信託業は預けた人のために預かったものを管理運営して利益を還元する奉仕(サービス)であるとお考えだったようです。

当時の思い出として後に信託の社長になられた林賢材さんは「信託会社は営利会社ではあるが、サービスを主眼とせねばらぬと度々諭された。後年三井報恩会の理事長として幾多の社会事業を育成されたことを思い、米山さんは社会事業家としても有数の方であった」と書かれています。三井信託での10年を終え、66歳から三井報恩会の理事長に就任しました。



三井信託銀行社長当時、米山梅吉が使用していた机と椅子(三井信託銀行)現在は米山記念館ロビーにあります。

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典/講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館 登録料無料 アトラクションあります。多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山表彰



米山功労者(9回目)
神谷 稔
(新座RC)



米山功労者(10回目)
メジャードナー
細井 保雄
(行田さくらRC)



米山功労者(2回目)
石井 成人
(川越RC)

訃報



謹んで哀悼の意を表し、心から
ご冥福をお祈り申し上げます。

関 靖子様 (新座RC)

2017年1月15日ご逝去されました。

享年 82 歳

ロータリー歴 1993年8月入会(在籍23年)

財団表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
下山 定夫
(富士見RC)



メジャードナー
木暮 亨
(深谷東RC)



ポール・ハリス・フェロー
松本 裕史
(羽生RC)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
細井 保雄
(行田さくらRC)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
矢澤 大和
(行田さくらRC)



ポール・ハリス・フェロー
小澤 誠邦
(行田さくらRC)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
池袋 賢一
(川越RC)



ポール・ハリス・フェロー
藤倉 武
(行田さくらRC)

Atlanta 世界大会へ参加しましょう

現在（2月15日）、当地区から37名の大会登録を受けています。この機会に、ロータリーがグローバルであることを実感できる大会に参加し、アトランタの旅をご一緒に楽しみませんか。

地区ホームページを参照してください。

新会員のご紹介



氏名 田中 敏雅
 クラブ名 飯能RC
 入会年月日 2016.11.2
 勤務先 みずほ銀行飯能支店
 紹介者 山川 荘太郎



氏名 菅間 俊彦
 クラブ名 川越西RC
 入会年月日 2016.11.9
 勤務先 (株)スガマオート
 紹介者 岡部 潤一



氏名 野口 克彦
 クラブ名 本庄RC
 入会年月日 2016.12.15
 勤務先 (株)野口石材
 紹介者 佐藤 賀則



氏名 平山 実
 クラブ名 鶴ヶ島RC
 入会年月日 2017.1.11
 勤務先 (株)メモリード
 紹介者



氏名 徳永 猛男
 クラブ名 所沢東RC
 入会年月日 2017.1.12
 勤務先 埼玉西パナホーム(株)
 紹介者 藤永 博



氏名 松本 高宏
 クラブ名 新狭山RC
 入会年月日 2017.1.16
 勤務先 有限会社 松重土木
 紹介者 田口 勇男



氏名 山口 裕
 クラブ名 川越RC
 入会年月日 2017.1.24
 勤務先 (株)電成社
 紹介者 馬場 常正
 鈴木 健二



氏名 米原 恭淳
 クラブ名 川越RC
 入会年月日 2017.1.24
 勤務先 (株)秀拓
 紹介者 岩堀 和久
 蓼沼 光夫



氏名 奥富 茂生
 クラブ名 入間RC
 入会年月日 2017.1.26
 勤務先 奥富経営会計事務所
 紹介者 石川 嘉彦



氏名 忍田 昇一
 クラブ名 新座RC
 入会年月日 2017.2.2
 勤務先 埼玉りそな銀行 新座支店
 紹介者 細沼 哲夫
 並木 傑



氏名 大沢 剛
 クラブ名 熊谷東RC
 入会年月日 2017.2.8
 勤務先 (株)JTB関東
 紹介者

3月のスケジュール

3	金	地区研修委員会会議 ガーデンパレスホテル熊谷
4	土	第2グループIM 志木市民会館 (パルシティー)
5	日	米山記念奨学生 修了式 川越東武ホテル
11	土	R L I 研修会 国立女性教育会館
12	日	第1グループIM 坂戸グランドホテル
18	土	財団・補助金管理セミナー 国立女性教育会館
24	金	第2720地区大会 (熊本・大分)
25	土	
27	月	全国会員基盤向上セミナー ホテルオークラ
28	火	

4月のスケジュール

8	土	坂戸RC・城西大学ローターアクトクラブ創立総会 城西大学
15	土	行田RC創立50周年記念式典 帝国ホテル
20	木	熊谷RC親睦旅行
22	土	
23	日	地区研修協議会 駿河台大学 (飯能市)

地区ホームページをご覧ください。

パソコン、タブレット、スマートフォンから
「rid2570」で検索して下さい。

rid2570

検索 

3月のロータリーレート
1 \$ = 116円

ガバナー月信 No.9
2017.3.1 発行

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

ガバナー月信事務局

〒360-0815 埼玉県熊谷市本石 1-78 株式会社三興社印刷所内
TEL : 048-521-4558 FAX : 048-522-2935
E-mail : letter2570@ae.wakwak.com

1月度 出席率及び会員数報告

クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数(人)									
		1月	通算	年初	1月末	1月入会数	1月退会者	本年度入会数	本年度退会者	1月度純増数	本年度純増数	女性会員	
第1グループ	川越	4	80.33	80.24	89	92	2	0	6	3	2	3	0
	東松山	3	74.70	85.24	26	26	0	0	0	0	0	0	1
	小川	3	61.90	74.82	8	8	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	3	85.06	85.09	29	30	0	0	1	0	0	1	1
	越生毛呂	4	78.40	74.87	16	16	0	0	1	1	0	0	2
	川越小江戸	3	94.44	92.93	15	14	0	0	0	1	0	-1	1
	川越西	3	64.58	75.59	14	17	0	0	3	0	0	3	0
	鶴ヶ島	3	86.00	88.57	30	30	0	0	0	0	0	0	3
	川越中央	3	73.79	80.40	32	30	0	0	0	2	0	-2	0
	坂戸さつき	2	80.85	77.76	18	25	0	0	7	0	0	7	4
東松山むさし	2	91.85	91.28	39	40	0	0	1	0	0	1	6	
合計(11RC)		79.26	82.44	316	328	2	0	19	7	2	12	19	
第2グループ	朝霞	4	94.60	91.36	31	30	0	0	0	1	0	-1	0
	志木	3	90.78	93.81	45	48	0	1	5	2	-1	3	0
	富士見	3	85.17	84.83	47	47	1	0	1	1	1	0	0
	新座	3	91.20	84.46	30	27	0	1	0	3	-1	-3	2
	和光	3	85.71	91.83	7	7	0	0	0	0	0	0	3
	朝霞キャロット	4	83.93	85.37	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	志木柳瀬川	3	77.60	86.32	10	10	0	0	0	0	0	0	4
	新座こぶし	2	80.00	81.33	12	12	0	0	0	0	0	0	1
合計(8RC)		86.12	87.41	196	195	1	2	6	7	-1	-1	10	
第3グループ	入間	3	78.00	81.59	42	43	1	1	2	1	0	1	2
	所沢	4	85.78	70.32	55	56	1	2	4	3	-1	1	4
	飯能	3	91.00	89.50	54	57	1	0	3	0	1	3	0
	新所沢	3	85.43	90.04	19	20	0	0	1	0	0	1	1
	日高	4	78.33	77.85	17	17	0	0	0	0	0	0	2
	所沢西	3	92.70	90.04	27	27	0	0	0	0	0	0	1
	新狭山	0	0.00	67.97	14	17	1	0	5	2	1	3	0
	所沢東	4	91.14	89.11	38	42	1	0	4	0	1	4	3
	入間南	4	74.32	70.44	40	42	0	0	3	1	0	2	0
	所沢中央	3	97.30	94.66	29	27	0	0	0	2	0	-2	3
狭山中央	4	75.77	76.77	35	32	0	2	0	3	-2	-3	7	
合計(11RC)		77.25	81.66	370	380	5	5	22	12	0	10	23	
第4グループ	深谷	4	70.30	71.11	57	55	0	0	0	2	0	-2	11
	本庄	3	85.50	77.65	72	72	0	0	2	2	0	0	4
	秩父	4	77.30	77.39	52	55	1	0	4	1	1	3	1
	寄居	3	83.93	87.03	27	28	1	0	1	0	1	1	0
	児玉	2	83.33	86.50	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	岡部	3	88.17	87.33	15	15	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	3	67.20	66.87	69	69	0	0	0	0	0	0	0
	川本	3	80.00	75.86	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀬	3	75.00	78.59	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	本庄南	3	83.00	74.91	14	15	1	0	2	1	1	1	0
深谷ノース	3	88.57	90.99	33	35	0	0	2	0	0	2	1	
合計(11RC)		80.21	79.47	366	371	3	0	11	6	3	5	19	
第5グループ	熊谷	4	79.76	74.79	88	89	0	1	5	4	-1	1	4
	行田	4	68.00	72.57	60	67	0	0	9	2	0	7	5
	羽生	4	75.52	70.70	47	49	0	0	2	0	0	2	4
	加須	2	100.00	74.06	28	28	0	0	1	1	0	0	0
	熊谷西	3	73.00	73.14	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	行田さくら	4	70.40	71.72	41	48	0	0	7	0	0	7	1
	熊谷東	2	71.66	64.00	28	30	0	0	2	0	0	2	2
	吹上	4	86.20	91.85	11	11	0	0	0	0	0	0	0
熊谷籠原	3	89.33	90.09	25	25	0	0	0	0	0	0	0	
熊谷南	3	52.60	49.44	19	19	0	0	0	0	0	0	1	
合計(10RC)		76.65	73.24	359	378	0	1	26	7	-1	19	17	

総グループの合計(51RC)

出席率(%)		上段・51クラブ男性会員数(人)/下段・女性会員数							
1月	通算	年初	1月末	1月入会数	1月退会者	本年度入会数	本年度退会者	1月度純増数	本年度純増数
79.60	80.61	1517	1564	11	5	80	33	6	47
		90	88	0	3	4	6	-3	-2